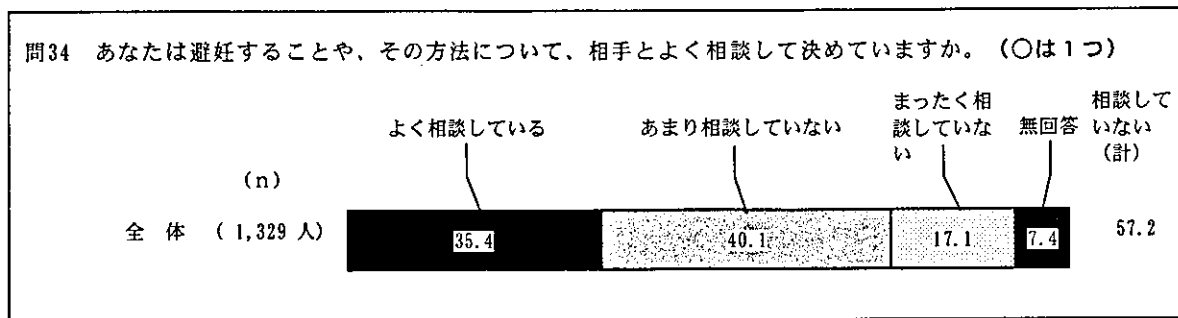


2 避妊についての相談

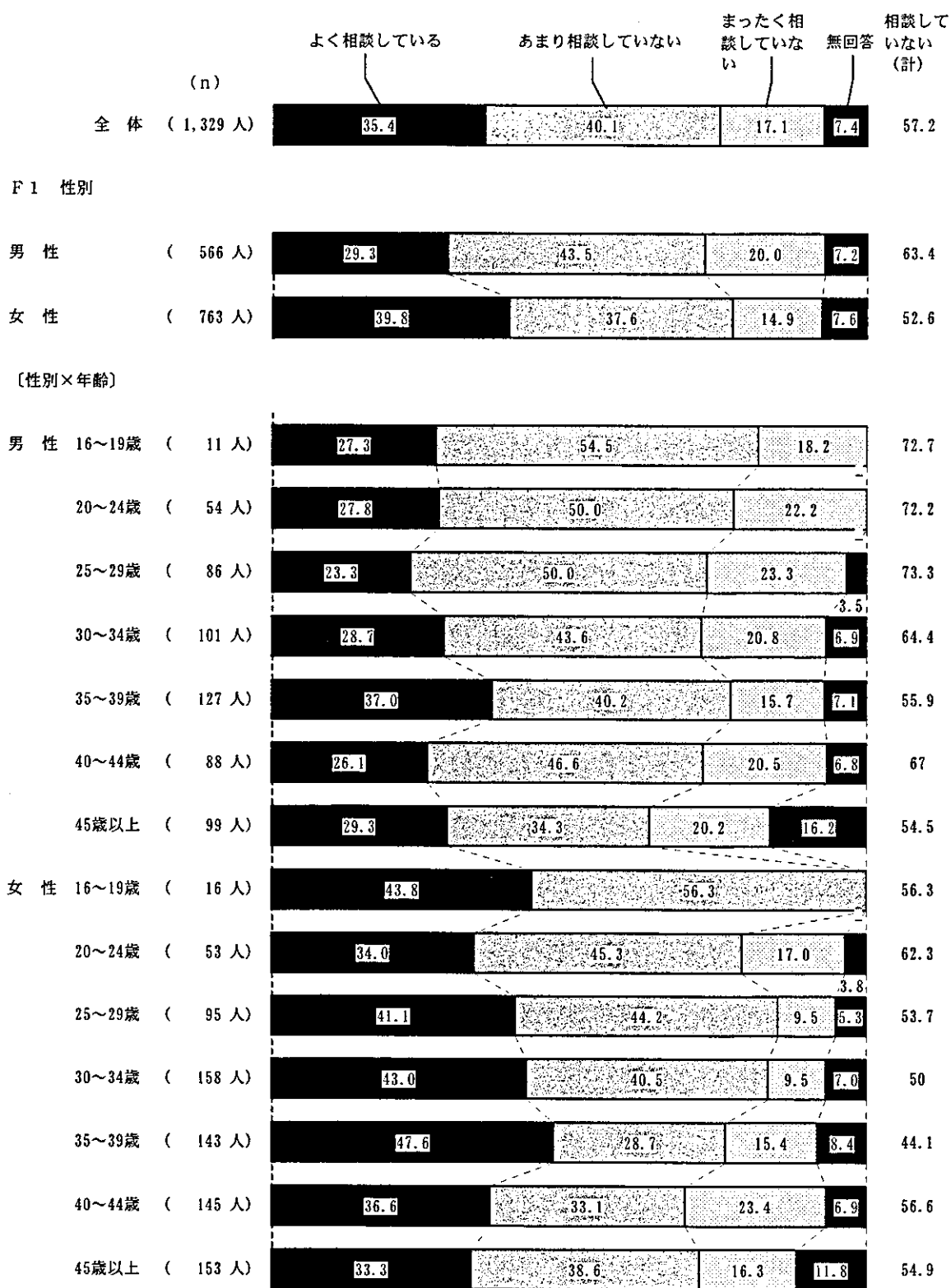


これまでにセックス（性交渉）をしたことのある者（1,329人）に、避妊することや、その方法について、相手とよく相談して決めているかどうかを聞いたところ、「よく相談している」という者は35.4%である。一方、「まったく相談していない」（17.1%）という者は2割弱で、「あまり相談していない」者（40.1%）を合わせると、6割近くが避妊について相手と『相談していない』と答えている。

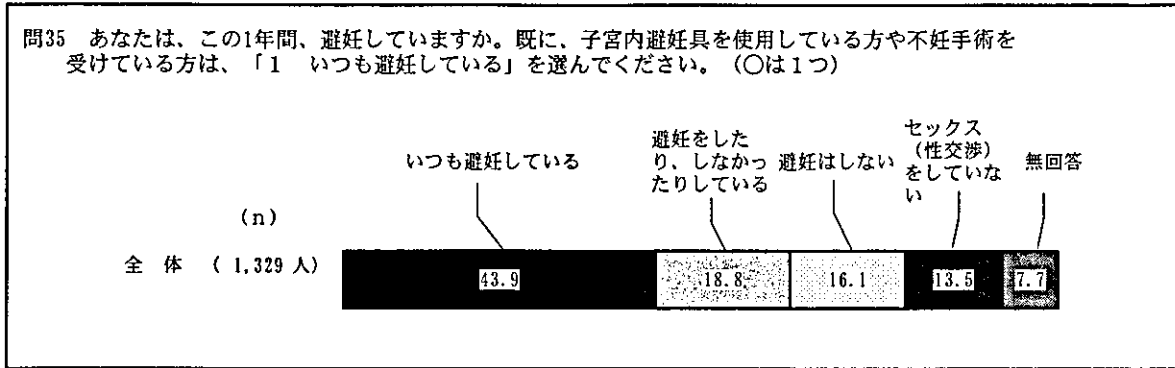
性別にみると（図6-2-1）、避妊について相手と「よく相談している」（男性29.3%、女性39.8%）という者は女性では4割と、男性を11ポイント上回っている。一方、避妊について「まったく相談していない」（同20.0%、14.9%）という者は男性の2割で、「あまり相談していない」（同43.5%、37.6%）という者を合わせると、6割以上が避妊について『相談していない』と答えており、女性より多くなっている。

性・年齢別にみると（図6-2-1）、避妊について相手と「よく相談している」と答えた者は、女性の35～39歳の年齢層で47.6%と、他の性・年齢層より多くなっている。これに対して、「まったく相談していない」もしくは「あまり相談していない」と答えた、避妊について『相談していない』者は、該当数は少ないが男性の20～29歳（20～24歳72.2%、25～29歳73.3%）の年齢層では7割を上回る。

図6-2-1 避妊についての相談（性別、性・年齢別）



3 この1年間の避妊



これまでにセックス（性交渉）をしたことのある者（1,329人）に、この1年間の避妊の状況を聞いたところ、「いつも避妊している」と答えたのは43.9%で、「避妊をしたり、しなかったりしている」者は18.8%、「避妊はしない」という者は16.1%である。

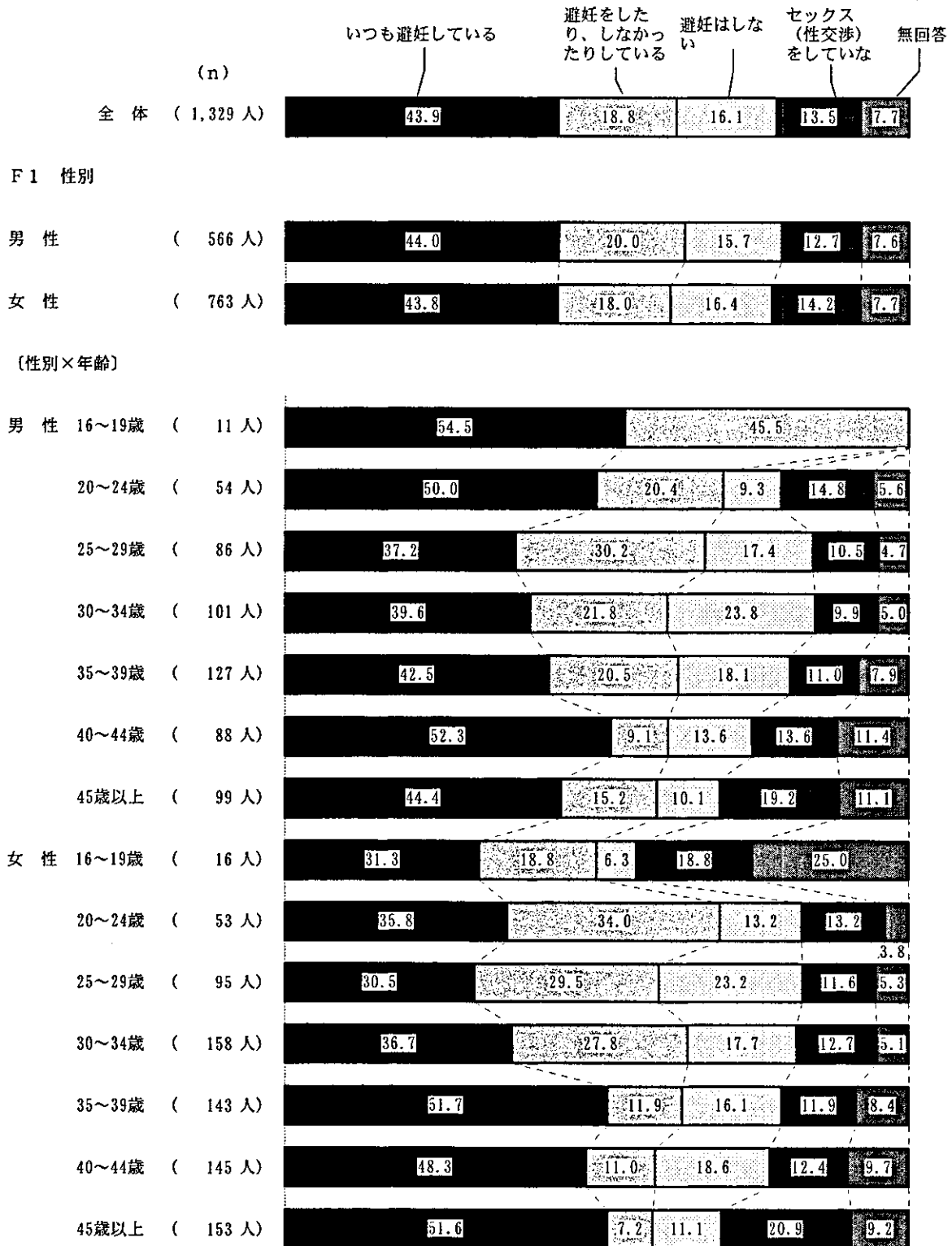
この1年間、「セックス（性交渉）をしていない」という者は13.5%である。

避妊の状況は、性別による差はみられない（図6-3-1）。

性・年齢別にみると（図6-3-1）、「いつも避妊している」者は男性の40～44歳（52.3%）と該当数は少ないが20～24歳（50.0%）、また女性の35歳以上の年齢層で5割前後となっている。

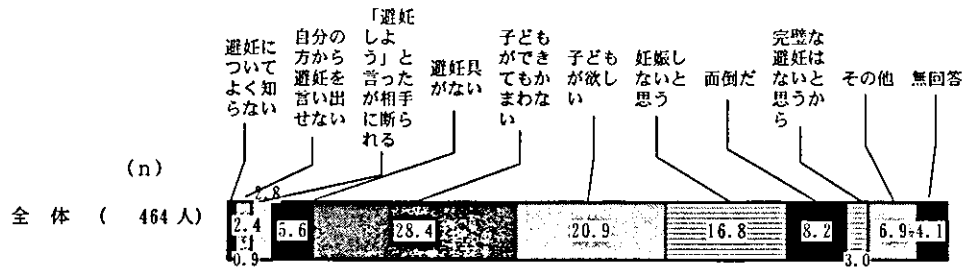
一方、「避妊をしたり、しなかったりしている」者は男性の25～29歳（30.2%）と女性の20～34歳の年齢層で3割前後と他の性・年齢層より多くなっている。「避妊はしない」という者は男性の30～34歳（23.8%）と女性の25～29歳（23.2%）の年齢層で、2割を上回っている。

図6-3-1 この1年間の避妊（性別、性・年齢別）



【問35で「2」または「3」と答えた方にお聞きします。】

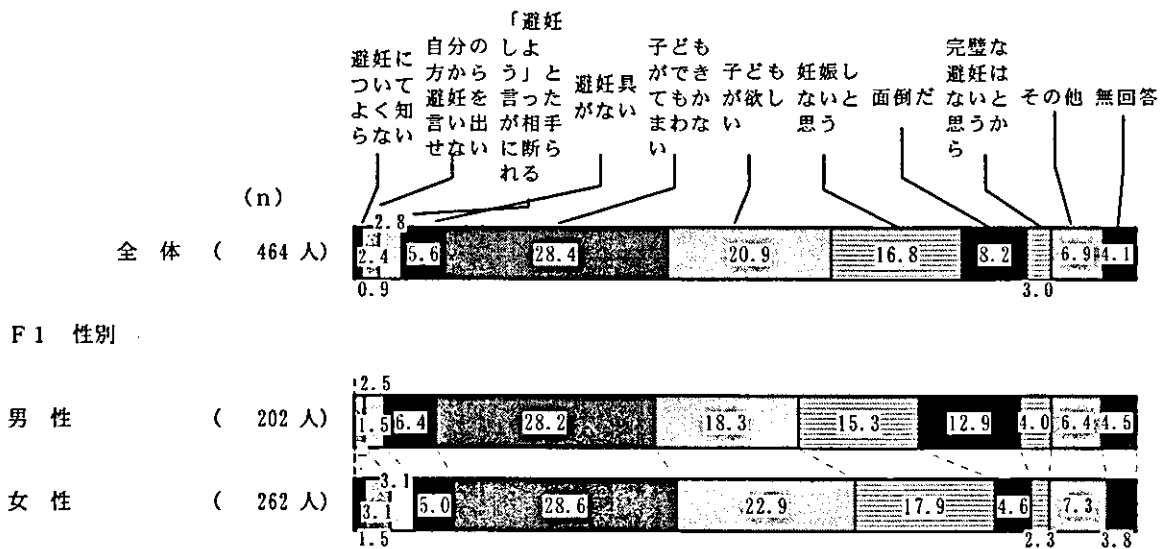
問35-1 あなたが、避妊をしていないことがあるのはなぜですか。もっとも大きな理由を1つお答えください。(○は1つ)



「避妊をしたり、しなかったりしている」もしくは「避妊はしない」と答えた者(464人)に、避妊をしていないことがある理由を聞いたところ、「子どもができてかまわない」(28.4%)という者が3割弱で最も多く、次いで「子どもが欲しい」(20.9%)、「妊娠しないと思う」(16.8%)の順となっている。

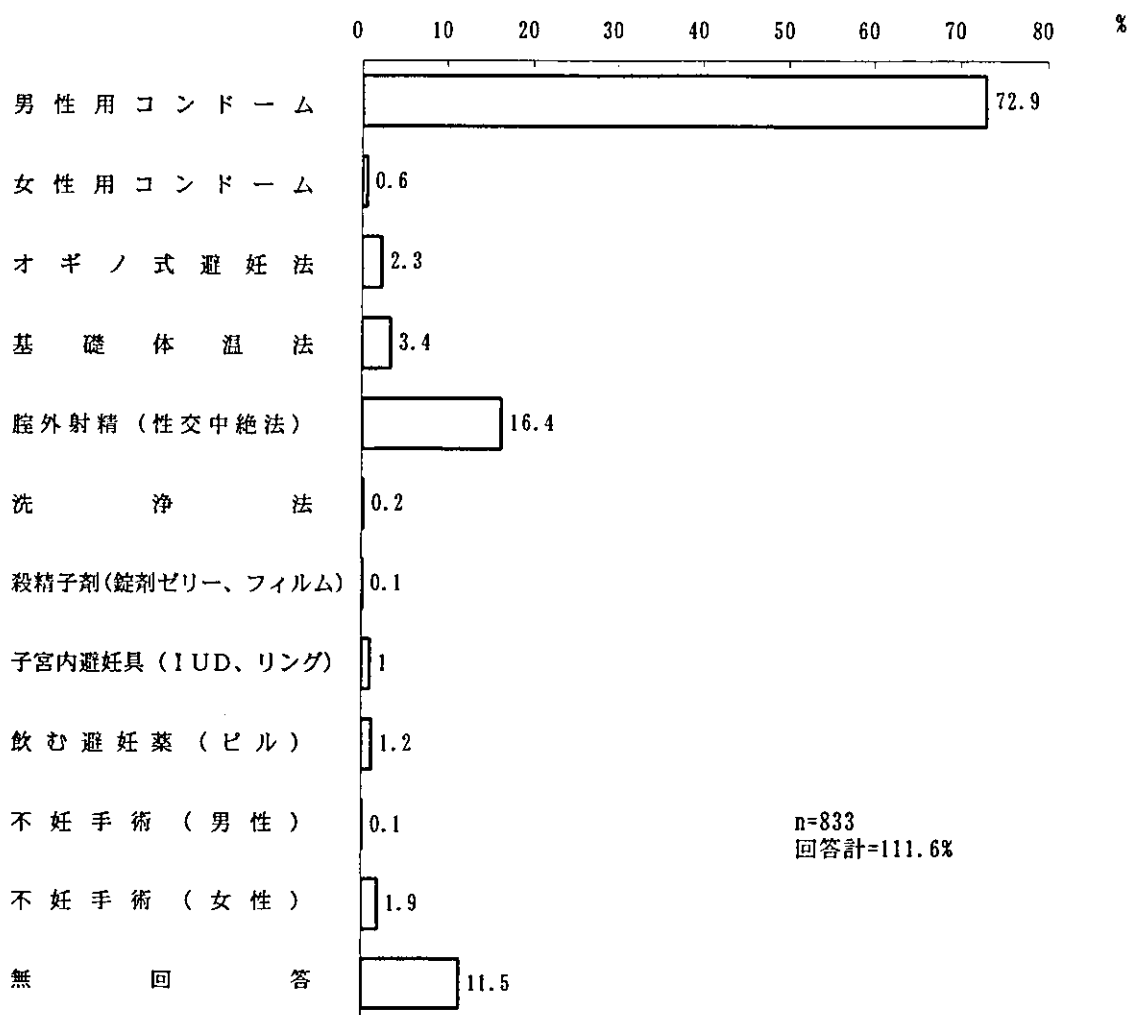
性別にみると(図6-3-2)、「子どもが欲しい」(男性18.3%、女性22.9%)という者は男性より女性にやや多くなっている。一方、男性では「面倒だ」(同12.9%、4.6%)という者が1割強で、女性より8ポイント多くなっている。

図6-3-2 避妊をしていないことがある理由(性別)



【問35で「1」または「2」と答えた方にお聞きします。問35で「3」と答えた、「避妊はしない」という方は、次ページの問37へお進みください。】

問35-2 あなたの、現在の主な避妊方法はどれですか。(〇は2つまで)



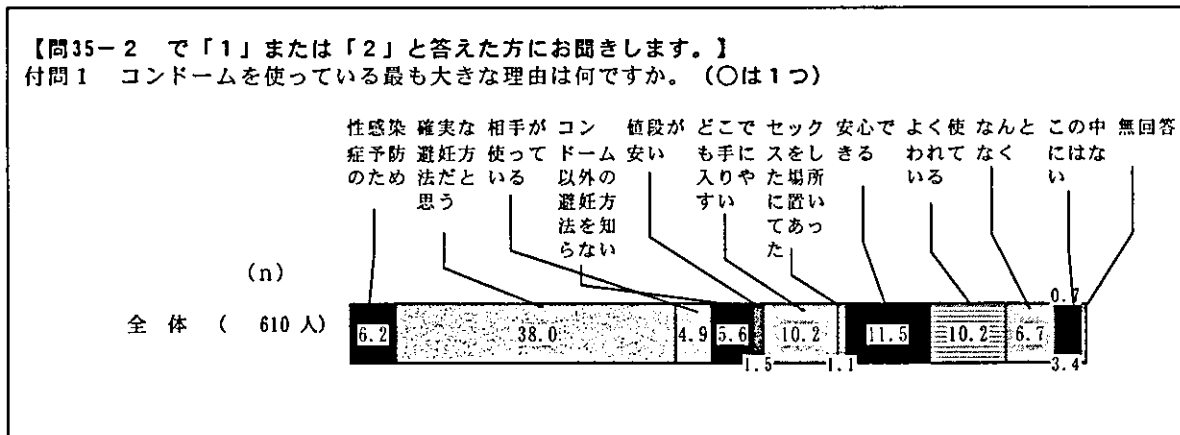
この1年間に「いつも避妊している」もしくは「避妊をしたり、しなかったりしている」という者(833人)の、現在の主な避妊方法としては、「男性用コンドーム」が72.9%で際立って多く、次いで「膈外射精(性交中絶法)」(16.4%)が2割弱となっている。

性別にみると（表6-3-1）、「男性用コンドーム」（男性 76.5%、女性 70.1%）は女性より男性に多くあげられている。

表6-3-1 現在の主な避妊方法（性別）

	n	男性用コンドーム	女性用コンドーム	オギノ式避妊法	基礎体温法	膈外射精（性交中絶法）	洗浄法	殺精子剤（錠剤、ゼリー、フィルム）	子宮内避妊具（IUD、リング）	飲む避妊薬（ピル）
全体	833	72.9	0.6	2.3	3.4	16.4	0.2	0.1	1.0	1.2
F1 性別										
男性	362	76.5	0.6	1.4	1.7	16.0	0.3	-	0.6	1.1
女性	471	70.1	0.6	3.0	4.7	16.8	0.2	0.2	1.3	1.3

	不妊手術（男性）	不妊手術（女性）	無回答	回答計
全体	0.1	1.9	11.5	111.6
F1 性別				
男性	-	1.1	9.4	108.6
女性	0.2	2.5	13.2	114.0



現在の主な避妊方法として男性用もしくは女性用のコンドームを使用している者（610人）に、コンドームを使っている最も大きな理由を聞いたところ、「確実な避妊方法だと思う」という者が38.0%で最も多く、次いで「安心できる」（11.5%）、「どこでも手に入りやすい」（10.2%）、「よく使われている」（10.2%）と答えた者がいずれも1割となっている。

性別にみると（表6-3-2）、「確実な避妊方法だと思う」（男性 40.3%、女性 36.1%）という者は女性より男性に、「安心できる」（同 9.7%、13.0%）と答えた者は男性より女性に、それぞれやや多くなっている。

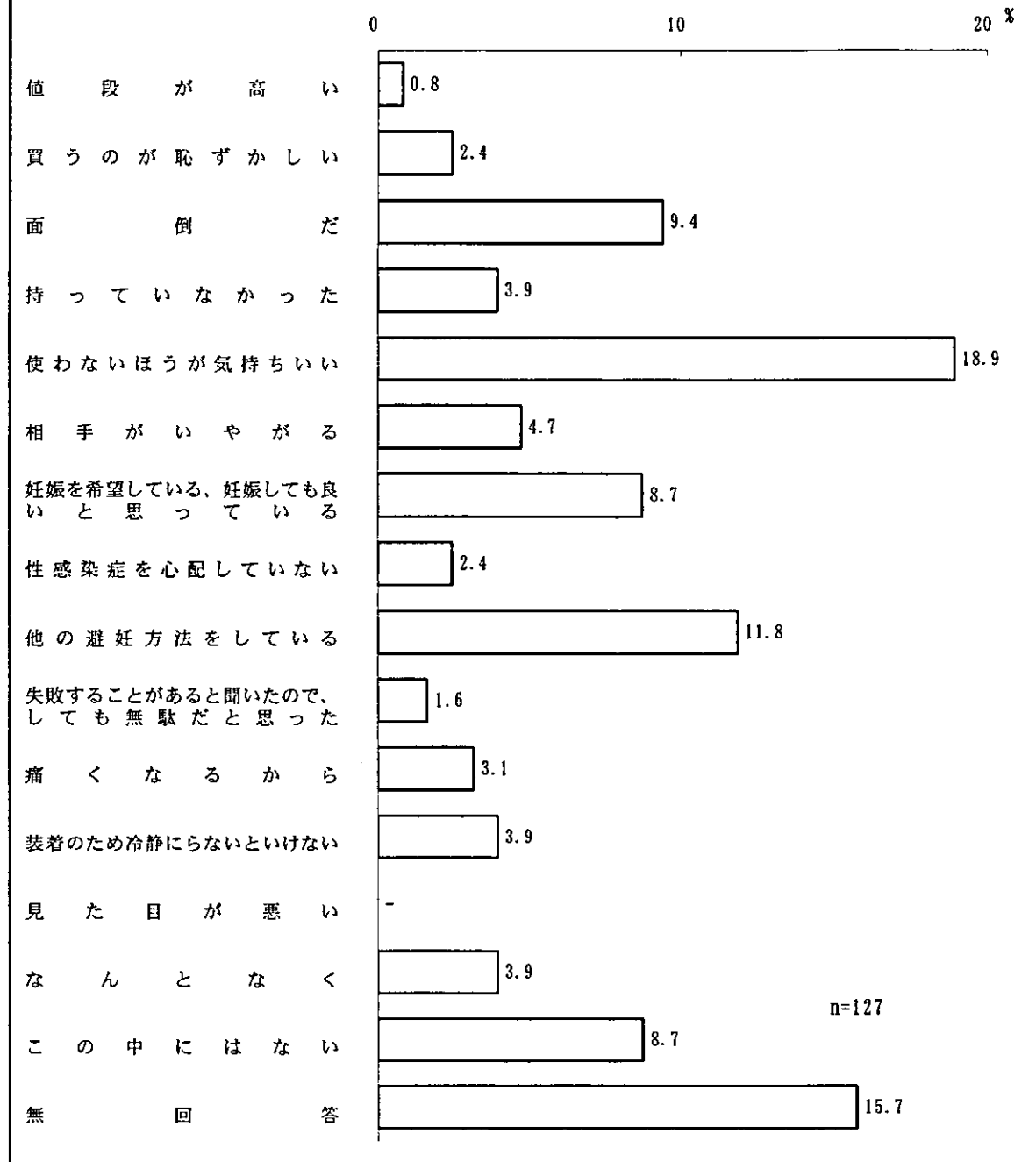
表6-3-2 コンドームを使っている最も大きな理由（性別）

	n	性感染症 予防のため	確実な避 妊方法だ と思う	相手が 使ってい る	コンドー ム以外の 避妊方法 知らない	値段が安 い	どこでも 手に入り やすい	セックス をした場 所に置い てあった	安心でき るから	よく使わ れている から
全 体	610	6.2	38.0	4.9	5.6	1.5	10.2	1.1	11.5	10.2
F1 性別										
男 性	278	9.0	40.3	-	6.8	1.8	9.0	0.4	9.7	11.2
女 性	332	3.9	36.1	9.0	4.5	1.2	11.1	1.8	13.0	9.3

	なんと なく	この中 には ない	無回答
全 体	6.7	3.4	0.7
F1 性別			
男 性	7.2	3.6	1.1
女 性	6.3	3.3	0.3

4 コンドームを使わない最も大きな理由

【性感染症予防のためにもコンドームは重要ですが、コンドームを使っていない方にお聞きします。】
 問36 コンドームを使わない最も大きな理由は何ですか。（〇は1つ）



現在の主な避妊法としてコンドームを使っていない者（127人）に、コンドームを使わない最も大きな理由を聞いたところ、「使わないほうが気持ちいい」（18.9%）という者が2割弱で最も多く、次いで「他の避妊方法をしている」（11.8%）と「面倒だ」（9.4%）と答えた者が1割前後である。

該当数は少ないが性別にみると（表6-4-1）、「使わないほうが気持ちいい」（男性 28.0%、女性 13.0%）もしくは「面倒だ」（同 22.0%、1.3%）という者は男性が女性を大きく上回っている。

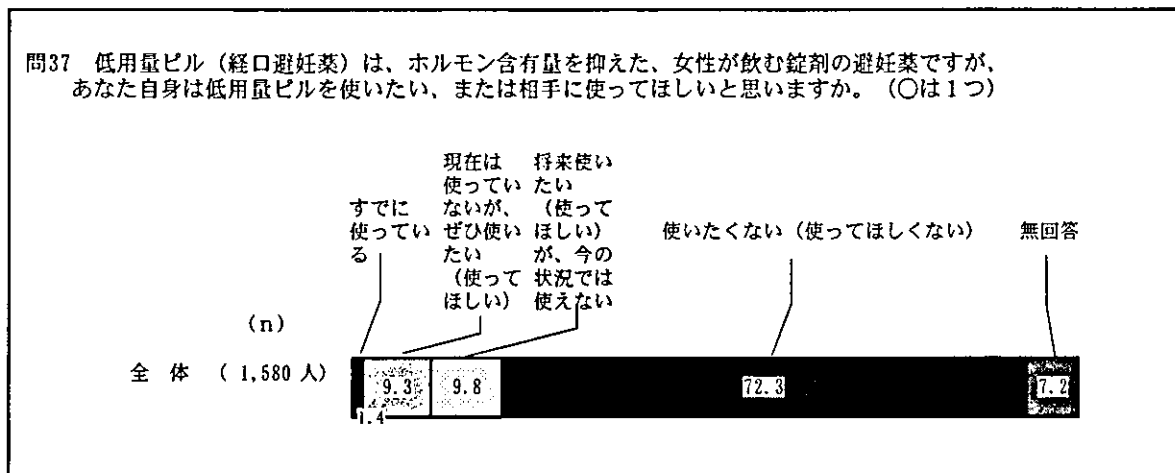
表6-4-1 コンドームを使わない最も大きな理由（性別）

	n	値段が高い	買うのが恥ずかしい	面倒だ	持っていない なかった	使わない ほうが 気持ちいい	相手がい やがる	妊娠を希 望してい る、妊娠 しても良 いと思っ ている	性感染症 を心配し ていない	他の避妊 方法をし ている	失敗する ことがあ ると聞い たので、 しても無 駄だと思 った
全 体	127	0.8	2.4	9.4	3.9	18.9	4.7	8.7	2.4	11.8	1.6
F1 性別											
男 性	50	-	-	22.0	2.0	28.0	2.0	6.0	-	8.0	-
女 性	77	1.3	3.9	1.3	5.2	13.0	6.5	10.4	3.9	14.3	2.6

	痛くなる から	装着のた め冷静に ならない といけない	見たくが 悪い	なんと なく	この中 には ない	無回答
全 体	3.1	3.9	-	3.9	8.7	15.7
F1 性別						
男 性	2.0	8.0	-	-	10.0	12.0
女 性	3.9	1.3	-	6.5	7.8	18.2

第7章 予期しない妊娠の防止について

1 低用量ピル（経口避妊薬）の利用意向



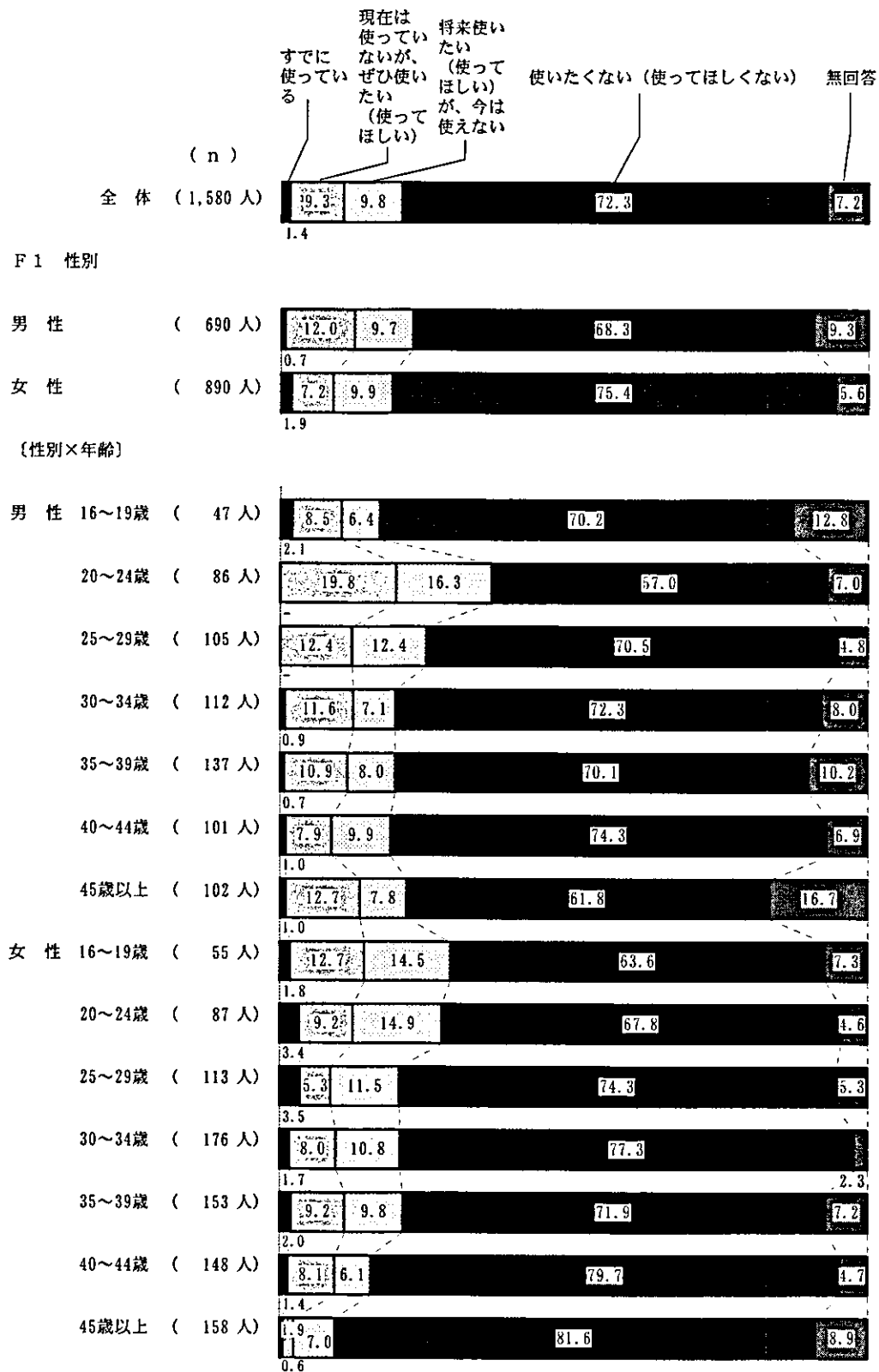
回答者全員に低用量ピル（経口避妊薬）の利用意向を聞いたところ、「現在は使っていないが、ぜひ使いたい（使ってほしい）」と答えた者は 9.3%で、「将来は使いたい（使ってほしい）が、今の状況では使えない」（9.8%）という者を合わせると、利用意向のある者はほぼ2割である。

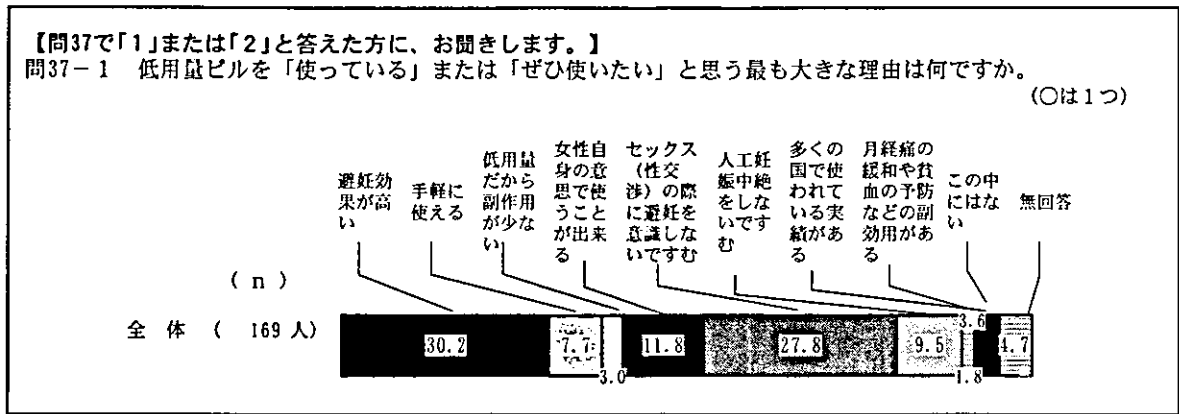
これに対して、「使いたくない（使ってほしくない）」は 72.3%と多数を占めている。また、「すでに使っている」という者は 1.4%である。

性別にみると（図7-1-1）、「現在は使っていないが、ぜひ使いたい（使ってほしい）」（男性 12.0%、女性 7.2%）という者は女性より男性にやや多くなっている。一方、女性では、低用量ピルを「使いたくない（使ってほしくない）」（同 68.3%、75.4%）という者が4人に3人の割合となっており、男性より7ポイント多くなっている。

性・年齢別にみると（図7-1-1）、男性の20～24歳の年齢層では、「現在は使っていないが、ぜひ使ってほしい」（19.8%）という者が2割と、他の性・年齢層より多く、「将来は使ってほしいが、今の状況では使えない」（16.3%）という者も2割弱となっている。

図7-1-1 低用量ピル（経口避妊薬）の利用意向（性別、性・年齢別）

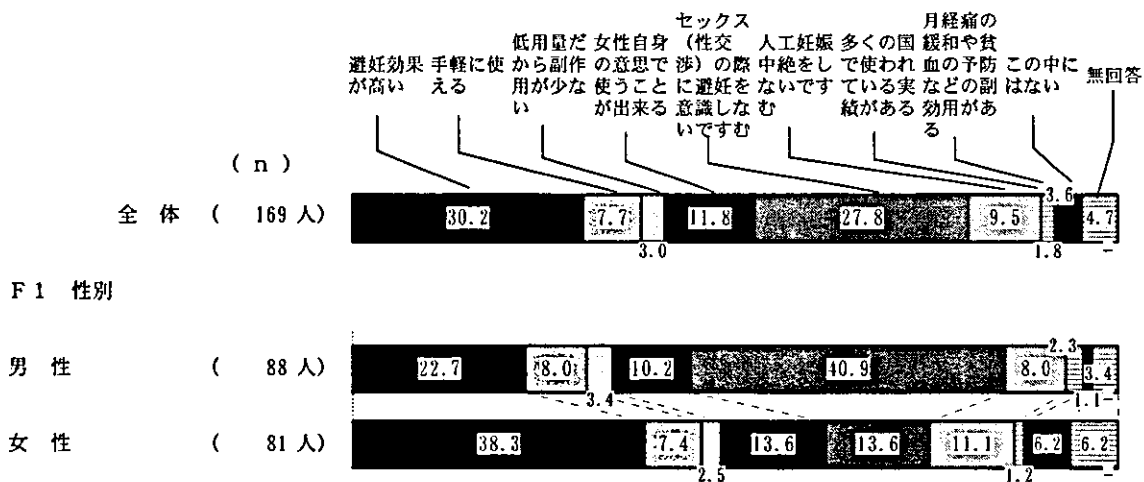




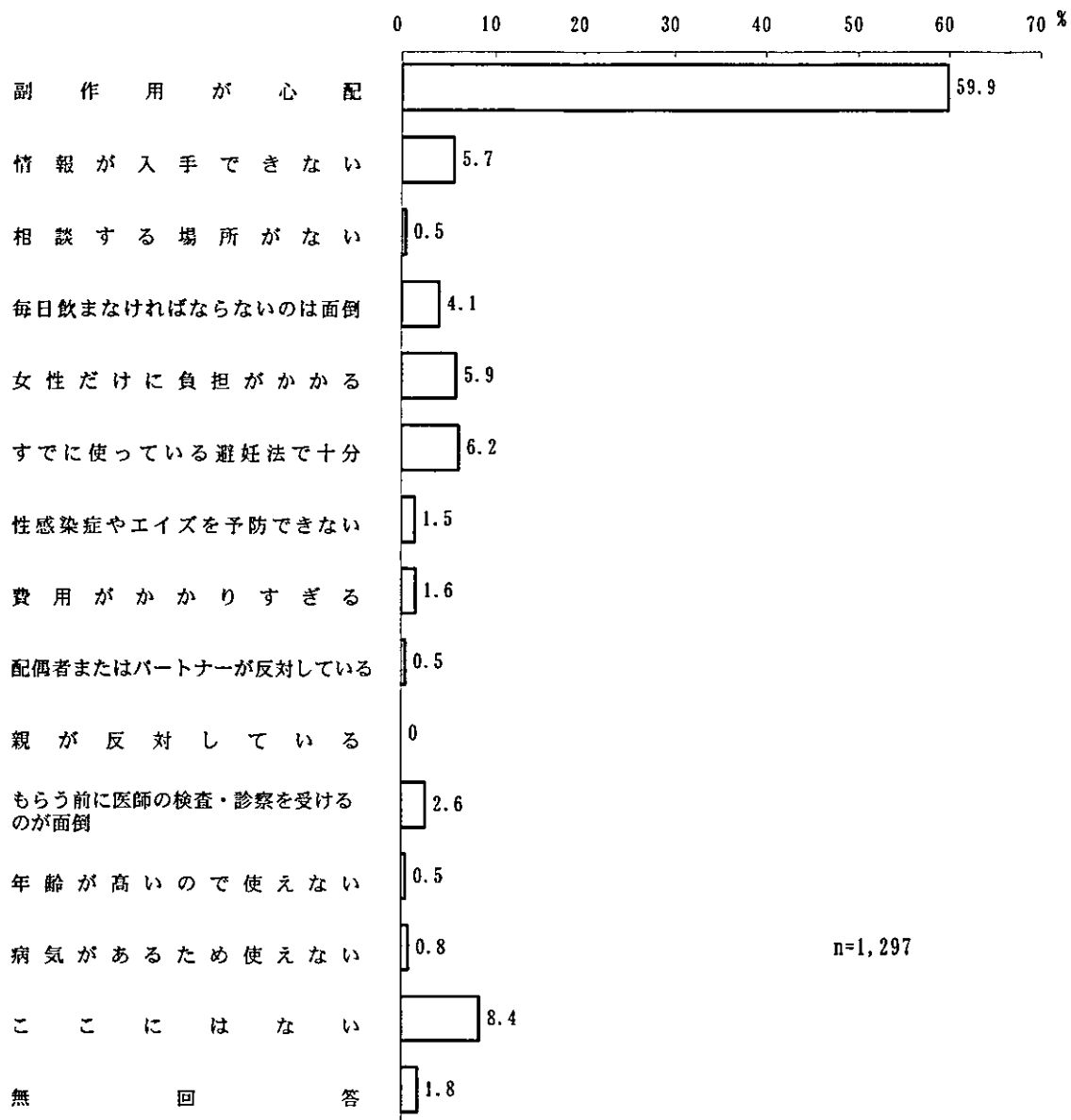
低用量ピル（経口避妊薬）を「すでに使いたい」もしくは「ぜひ使いたい（使ってほしい）」と答えた者（169人）に、その最も大きな理由を聞いたところ、「避妊効果が高い」と答えた者が30.2%、「セックス（性交渉）の際に避妊を意識しないで済む」という者が27.8%である。

性別にみると（図7-1-2）、「避妊効果が高い」（男性22.7%、女性38.3%）と答えた者は女性で、「セックスの際に避妊を意識しないで済む」（同40.9%、13.6%）という者は男性で、それぞれ4割前後となっている。

図7-1-2 低用量ピル（経口避妊薬）を使いたい（使ってほしい）理由（性別）



【問37で「3」または「4」と答えた方に、お聞きします。】
 問37-2 低用量ピルを、「使えない」または「使いたくない」ことの最も大きな理由は何ですか。
 (〇は1つ)



低用量ピル（経口避妊薬）を「将来は使いたい（使ってほしい）」が、今の状況では使えない」もしくは「使いたくない（使ってほしくない）」と答えた者（1,297人）に、その最も大きな理由を聞いたところ、「副作用が心配」であると言うものが59.9%と、際立って多くなっている。

性別にみても（表7-1-1）、男女とも6割が「副作用が心配」（男性60.8%、女性59.3%）と答えている。それ以外では、「女性だけに負担がかかる」（同10.0%、2.9%）という者は女性より男性に、「毎日飲まなければならないのは面倒」（同1.3%、6.1%）と答えた者は男性より女性に、それぞれ多くなっている。

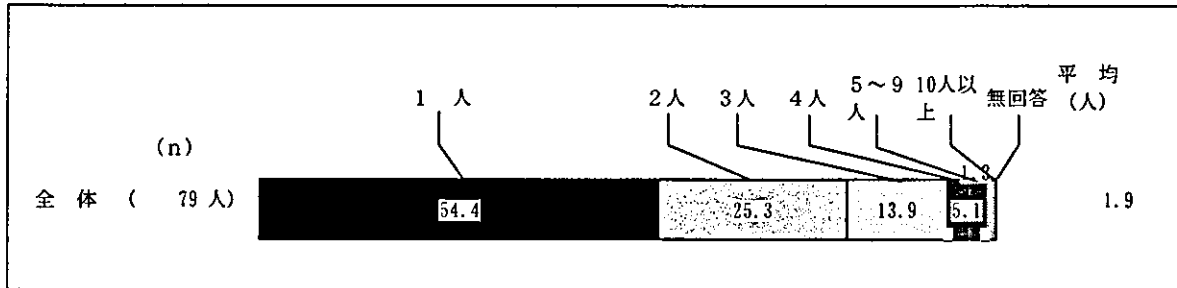
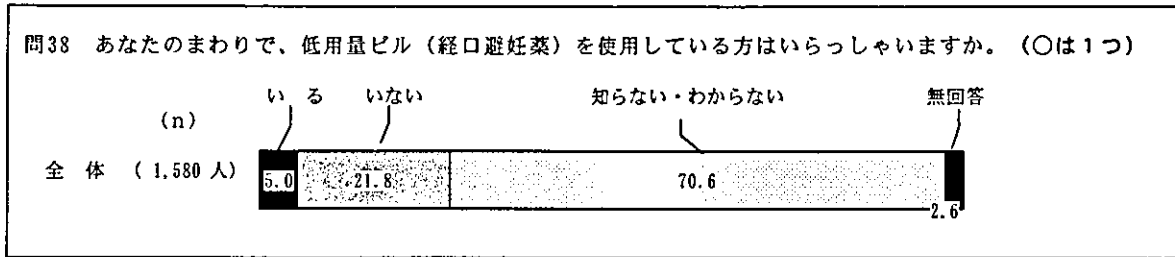
性・年齢別にみると（表7-1-1）、「副作用が心配」という者は男性の35～44歳で7割前後と、他の性・年齢層より多くなっている。また、「女性だけに負担がかかる」と答えた者は男性の25～34歳と45歳以上で、「毎日飲まなければならないのは面倒」という者は女性の30～34歳で、それぞれ1割前後となっている。さらに、「情報が入手できない」ことが理由であるという者が、男性の25～29歳（11.5%）と女性の20～24歳（11.1%）で1割いる。

表7-1-1 低用量ピル（経口避妊薬）を使わない理由（性別、性・年齢別）

	(n)	副作用が心配	情報が入手できない	相談する場所がない	毎日飲まなければならないのは面倒	女性だけに負担がかかる	すでに使っている避妊法で十分	性感染症やエイズを予防できない	費用がかかりすぎる	配偶者またはパートナーが反対している	親が反対している
全体	1,297	59.9	5.7	0.5	4.1	5.9	6.2	1.5	1.6	0.5	-
F1 性別											
男性	538	60.8	6.3	0.6	1.3	10.0	5.4	1.5	0.9	0.7	-
女性	759	59.3	5.3	0.4	6.1	2.9	6.9	1.4	2.1	0.4	-
〔性別×年齢〕											
男性 16～19歳	36	38.9	11.1	-	-	22.2	-	5.6	-	-	-
20～24歳	63	60.3	3.2	-	1.6	12.7	1.6	1.6	-	1.6	-
25～29歳	87	54.0	11.5	1.1	3.4	9.2	6.9	2.3	-	-	-
30～34歳	89	60.7	4.5	1.1	-	10.1	5.6	-	1.1	1.1	-
35～39歳	107	73.8	4.7	-	0.9	5.6	8.4	0.9	1.9	1.9	-
40～44歳	85	68.2	3.5	1.2	2.4	8.2	2.4	1.2	2.4	-	-
45歳以上	71	52.1	8.5	-	-	11.3	8.5	1.4	-	-	-
女性 16～19歳	43	55.8	4.7	2.3	9.3	7.0	2.3	2.3	4.7	-	-
20～24歳	72	54.2	11.1	1.4	6.9	2.8	9.7	1.4	4.2	1.4	-
25～29歳	97	60.8	4.1	-	6.2	4.1	8.2	2.1	1.0	-	-
30～34歳	155	61.9	2.6	0.6	9.0	3.2	3.9	1.3	3.9	-	-
35～39歳	125	61.6	5.6	-	2.4	2.4	8.0	0.8	2.4	0.8	-
40～44歳	127	57.5	4.7	-	4.7	2.4	7.9	-	0.8	0.8	-
45歳以上	140	58.6	6.4	-	5.7	1.4	7.1	2.9	-	-	-

	もう前に医師の検査・診察を受けるのが面倒	年齢が高いので使えない	病気があるため使えない	ここにはない	無回答
全体	2.6	0.5	0.8	8.4	1.8
F1 性別					
男性	1.3	0.2	0.2	8.4	2.4
女性	3.6	0.7	1.3	8.4	1.3
〔性別×年齢〕					
男性 16～19歳	-	-	-	16.7	5.6
20～24歳	1.6	-	-	12.7	3.2
25～29歳	1.1	-	-	9.2	1.1
30～34歳	3.4	-	-	11.2	1.1
35～39歳	-	-	0.9	-	0.9
40～44歳	2.4	1.2	-	2.4	4.7
45歳以上	-	-	-	15.5	2.8
女性 16～19歳	7.0	-	-	-	4.7
20～24歳	1.4	-	-	4.2	1.4
25～29歳	3.1	-	2.1	7.2	1.0
30～34歳	1.9	-	1.9	8.4	1.3
35～39歳	3.2	-	1.6	10.4	0.8
40～44歳	7.9	1.6	0.8	10.2	0.8
45歳以上	2.1	2.1	1.4	10.7	1.4

2 周囲の低用量ピル（経口避妊薬）を使用者の有無



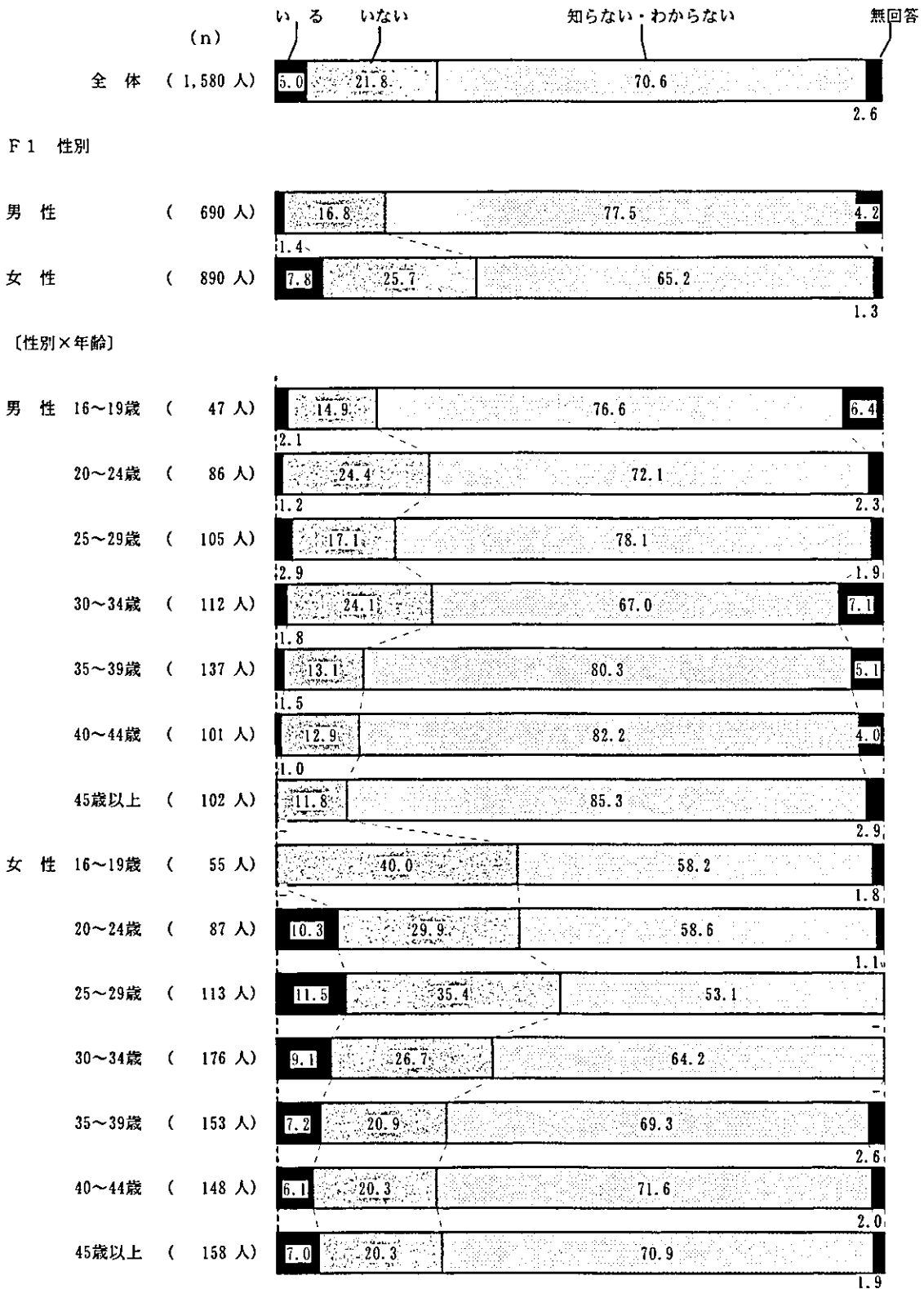
身の回りに低用量ピル（経口避妊薬）を使用している人が「いる」という者は 5.0%で、その人数は「1人」（54.4%）であるものが過半数を占め、平均すると 1.9人である。

一方、「いない」と答えた者は 21.8%で、「知らない・わからない」（70.6%）という者が7割を占めている。

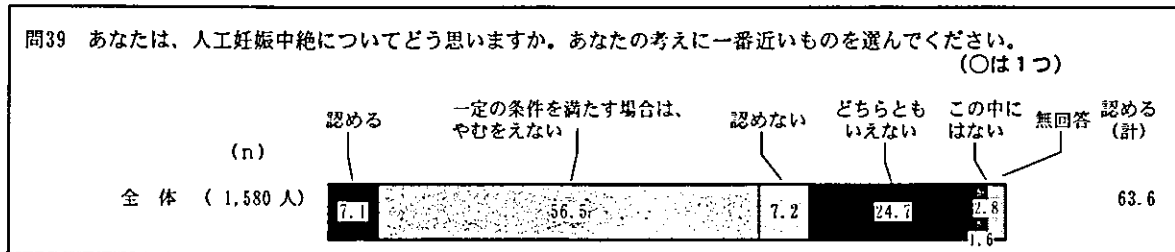
性別にみると（図7-2-1）、「いる」（男性 1.4%、女性 7.8%）もしくは「いない」（同 16.8%、25.7%）という者は男性より女性に多く、「知らない・わからない」（同 77.5%、65.2%）という者は女性より男性に多くなっている。

性・年齢別にみると（図7-2-1）、男性の35歳以上の年齢層では「知らない・わからない」という者が8割以上となっている。

図7-2-1 周囲の低用量ピル（経口避妊薬）を使用者の有無（性別、性・年齢別）



3 人工妊娠中絶についての意識



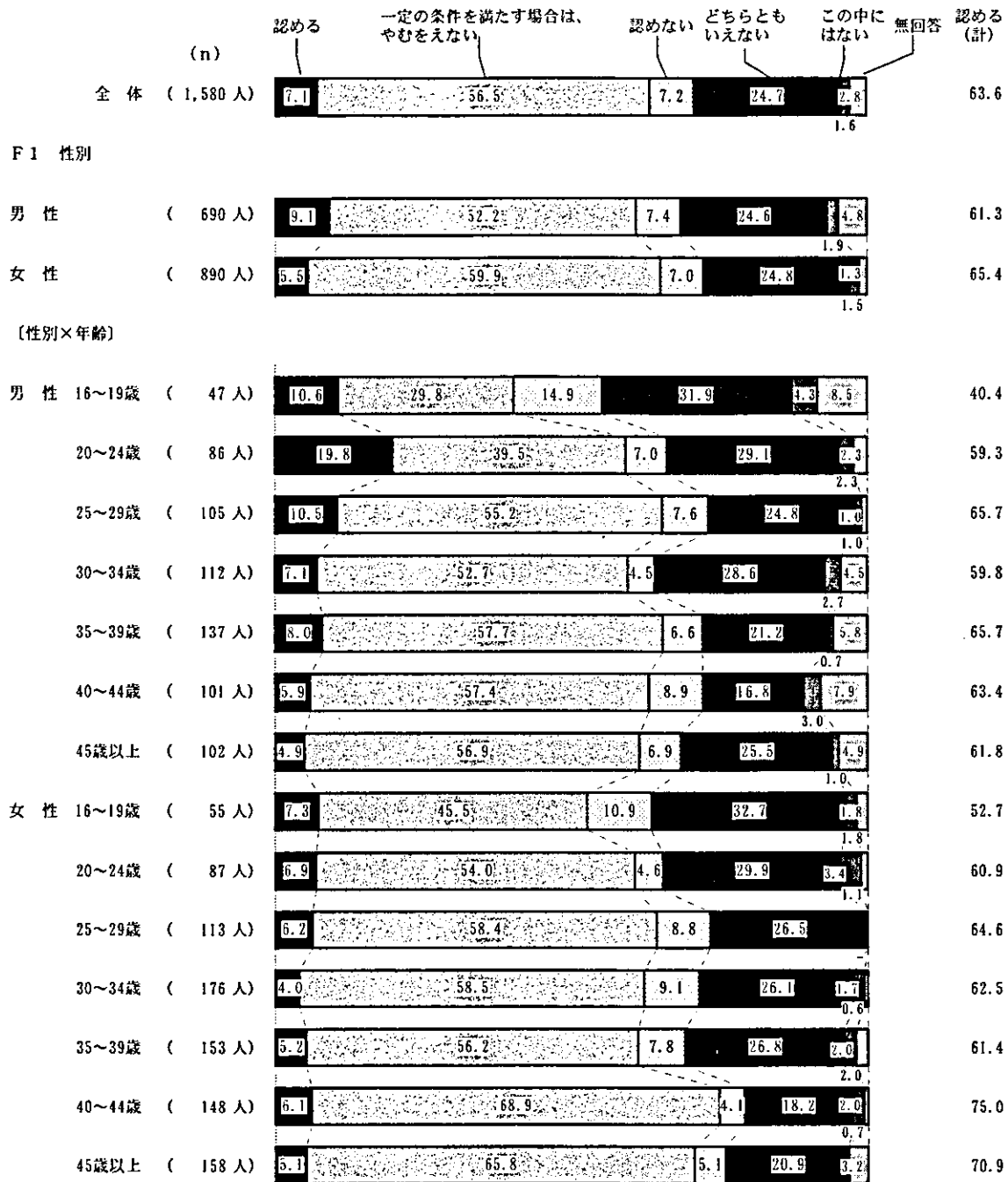
人工妊娠中絶についての意識を聞いたところ、「認める」と答えた者は 7.1%で、「一定の条件を満たす場合は、やむをえない」(56.5%)という者が6割弱である。

これに対して、「認めない」という者は 7.2%で、4人に1人は「どちらともいえない」(24.7%)と答えている。

性別にみると(図7-3-1)、人工妊娠中絶を「認める」(男性 9.1%、女性 5.5%)という者は、女性より男性にやや多くなっている。女性では「一定の条件を満たす場合は、やむをえない」(同 52.2%、59.9%)という者が6割で、男性を8ポイント上回っている。

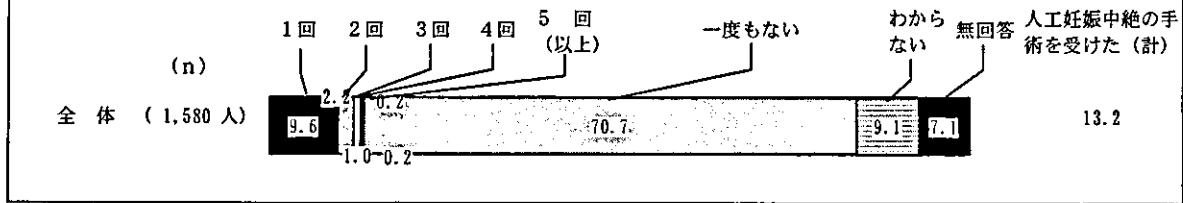
性・年齢別にみると(図7-3-1)、男性の20~24歳では2割が、人工妊娠中絶を「認める」(19.8%)と答えている。一方、「一定の条件を満たす場合は、やむをえない」と答えた者は、女性の40歳以上で7割弱と、他の性・年齢層より多くなっている。

図7-3-1 人工妊娠中絶についての意識（性別、性・年齢別）



4 人工妊娠中絶の手術を受けた経験

問40 あなた（あるいはあなたの相手）は、これまでに、人工妊娠中絶の手術を受けたことがありますか。
1から5までの番号に○を1つつけてください。また、1に○をつけた人はその時の年齢を、2～5に○をつけた人は、1回目と2回目のあなたの年齢をお書きください。



女性には自分自身が、男性には相手の女性が、これまでに人工妊娠中絶の手術を受けたことがあるかどうかを聞いたところ、「1回」と答えた者が9.6%で、次いで「2回」が2.2%である。

一方、「一度もない」という者は70.7%で、これまでに人工妊娠中絶の手術を受けたことが『ある』という者は1割強となっている。

性別にみると、これまでに人工妊娠中絶の手術を受けたことが『ある』という者は女性で16.3%と、男性(9.1%)を7ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、女性の35歳以上の年齢層では2割以上が、これまでに人工妊娠中絶の手術を受けたことが『ある』と答えている。